

# 志田雄一郎

区議会レポート  
2022年 初夏号



編集・発行：立憲民主党・無所属クラブ

住所：新宿区歌舞伎町1-4-1 新宿区役所 5階  
電話：03-5273-3555 FAX：03-3209-1077



(しだ・ゆういちろう) 1967 (昭和42) 年新宿区生まれ。現在6期目。  
総務区民委員会、文化観光産業特別委員会に所属。

## ◎新型コロナウイルスワクチン 4回目接種について ◎住居の耐震化 支援事業について

### 【1】接種開始時期

令和4年5月下旬から (今後の国の方針決定を踏まえて対応)

### 【2】対象者

- ①60歳以上の方
- ②18歳以上59歳以下で基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方

### 【3】接種間隔

3回目接種完了から5か月経過後から接種可能

### 【4】使用ワクチン

ファイザー社 (P F) 及び武田/モデルナ社 (T M) ※接種量は3回目接種と同量

### 【5】接種会場

- ①集団接種：元気館・第一分庁舎 (主にT M)、聖母病院 (P F) ほか  
※ 地域センターでの接種は終了とする
- ②個別接種：140箇所程度 (順次開始予定、主にP F)
- ③高齢者施設や障害者施設への巡回接種 (順次開始予定、主にP F)



### 【6】接種券の発送

3回目接種完了時期	4回目接種開始時期	接種券発送	発送対象者
(令和3年) 12月	5月下旬以降	5月20日	60歳以上の方※2 基礎疾患を有する方等※3
1月	6月以降	5月20日	
2月	7月以降	6月上旬から※1	
3月	8月以降	7月上旬から※1	

※1 接種予定期間ごとに上旬・中旬・下旬に分けて発送

※2 新たに60歳を迎える方は、接種開始月の前までに発送

※3 事前にインターネットやコールセンターで発送受け付けを行う予定

### 【7】予約方法

予約開始は接種券が届き次第、全ての接種希望者がご自身で予約する。

- ①集団接種：インターネット及び区新型コロナワクチン接種コールセンター
- ②個別接種：各医療機関による
- ③集団接種の予約受付方法

65歳以上の方への会場・日時の割り当ては実施しないこととし、4回目接種では全ての接種希望者がご自身で予約する方法に変更する。このことに伴い、予約集中の回避や予約困難者へのサポートとして以下の対策を実施する。

- (ア) 接種券発送について、高齢者の大半が接種対象となる7月及び8月 (接種券発送が6月及び7月) は、接種券を上旬・中旬・下旬に分けて発送する。
- (イ) 区新型コロナワクチン接種コールセンターの回線数を増強する。
- (ウ) タブレット端末等を利用した予約代行サポートを実施する。

区政相談受付中！

ご意見・ご要望は…

TEL・FAX 03-3355-0546

yuichiro.shida@gmail.com

新宿区議会議員

志田雄一郎



(広報新宿より抜粋)

# ～地震に強い住まいのために～

## 区の支援事業をご活用ください

区では、災害に強いまちづくりに向けて、下記の助成を行っています。 [HPで詳しく](#)

問合せ

- ▶木造住宅・非木造建築物の耐震化、ブロック塀等の除去、特定緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化…防災都市づくり課 ☎(5273) 3829
- ▶擁壁・がけの耐震化、エレベーターの耐震化…建築指導課 ☎(5273) 3745(いずれも本庁舎8階)、☎(3209) 9227



▲建築物等耐震化支援事業



▲擁壁・がけの耐震化



▲エレベーターの耐震化

[HPで詳しく](#)

●同マークがある記事について  
詳しくは、新宿区ホームページでもご案内しています。

## 木造住宅の耐震化

対象 昭和56年5月31日以前に着工した木造2階建て以下の住宅・店舗等併用住宅(過半が住宅)

### ■耐震診断のための建築士派遣(無料)

### ■補強設計等・耐震改修工事への助成

次の費用の一部を助成します。

- ▶補強設計(限度額/17万円)

※詳細耐震診断と補強設計を合わせて実施する場合の限度額は30万円(詳細耐震診断/13万円・補強設計/17万円)

- ▶補強設計に基づいて行う耐震改修工事(限度額/75万円～300万円(助成区分により異なる))

### ■木造住宅への耐震フォローアップ

区の助成等を活用して耐震診断を行った結果、改修工事が必要と診断され、かつ改修工事に至っていない木造住宅を対象に、再度、耐震化の呼び掛けや助成制度をご案内するため、区から5月ごろに通知を発送します。希望する方には訪問し、ご自身の建築物の耐震化に関する説明を行います。

## ブロック塀等の除去

道に沿った高さ1m以上の安全性が確認できないブロック塀等の除去にかかる費用の一部を助成(限度額/40万円)

## 擁壁・がけの耐震化

高さが1.5m以上の擁壁等の改修等(新設または造り替え)工事費の一部を助成

※専門技術者の無料派遣も実施



擁壁の耐震化の例

## エレベーターの耐震化

マンション等の共同住宅や中小企業が所有する建物等に既に設置済みのエレベーターを対象に、地震時の閉じ込め・挟まれ事故防止のための装置設置や耐震補強等の防災対策改修工事費の一部を助成

## 非木造建築物の耐震化

対象 昭和56年5月31日以前に着工した非木造建築物

### ■耐震アドバイザー派遣・簡易耐震診断(無料)

### ■耐震診断・補強設計・耐震改修工事への助成

次の費用の一部を助成します。

- ▶耐震診断(限度額/200万円)、▶補強設計(限度額/200万円)
- ▶耐震改修工事(限度額/1,000万～1億円(建築物の種類により異なる))

## 特定緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化

### ■補強設計・耐震改修工事・除却・建替えへの助成

震災時の避難や救急活動に重要な役割を持つ特定緊急輸送道路沿いの建築物の耐震化を進めるため、耐震改修工事等の費用の一部を助成

- ★延べ面積5,000㎡以下の部分にかかる耐震改修工事費助成の上限額を撤廃しました。



### 木造住宅の不燃化建替え等に助成しています

#### 木造住宅密集地域等の解消に向けて

木造住宅密集地域等のうち、特に不燃化を促進すべき地域などを対象に、現存する木造住宅を準耐火建築物等に不燃化建替えや除却(取り壊し)に助成しています。不燃化建替え・除却を計画している方は、まずはお問い合わせください。

問合せ 防災都市づくり課(本庁舎8階) ☎(5273) 3842

#### ●不燃化建替えへの助成

▶昭和56年5月31日以前の着工で耐震診断の結果、耐震性が不足していると診断された木造住宅…補助対象事業費の4分の3以内(1件につき300万円を限度)

▶上記以外の木造住宅…補助対象事業費の4分の3以内(1件につき100万円を限度)

#### ●除却(取り壊し)への助成

昭和56年5月31日以前の着工で耐震診断の結果、耐震性が不足していると診断された木造住宅…補助対象事業費の4分の3以内(1件につき50万円を限度)

対象地域 以下の町丁目の全域または一部  
▶上落合1～3丁目、▶北新宿2丁目、▶西新宿5丁目、▶赤城元町、▶赤城下町、▶改代町、▶築地町、▶中里町、▶天神町、▶山吹町、▶矢来町、▶神楽坂1～6丁目、▶市谷柳町、▶若葉1～3丁目、▶須賀町、▶信濃町、▶四谷3丁目、▶左門町、▶南元町、▶市谷山伏町、▶南横町、▶櫻町、▶弁天町

防災区民組織の認定を  
これから検討するマンション防災組織へ  
防災資機材の現物支給

[HPで詳しく](#)



マンション自主防災組織に、今後防災区民組織の登録を検討することや、年1回の防災訓練の実施とその内容を区に報告することを条件に、防災資機材や電源確保資機材を支給します。

既に区から認定を受けている防災区民組織等には、電源確保資機材支給の通知を送付済みです。詳しくは、お問い合わせください。

対象: 地階を除き5階建て以上で住宅の戸数が20戸以上の共同住宅で、防災区民組織として認定を受けていないマンション自主防災組織

- 内容: ▶①防災資機材の現物支給…組立式トイレ、携帯ラジオ、エレベーターチェアほか(上限額/合計20万円(税込))
- ▶②電源確保資機材の現物支給…発電機、ソーラー充電器、自転車チャージャーほか(上限額/合計25万円(税込))

※①②はそれぞれ別の申請が必要です。

申込み 4月28日(必着)までに、必ず事前に相談の上、所定の申請書を郵送または直接、問合せ先へ。申請書は同係で配布しているほか、新宿区ホームページから取り出せます。

問合せ 危機管理課地域防災係

(〒160-8484 歌舞伎町1-4-1、本庁舎4階) ☎(5273) 3874